

北部中学校の ESD 活動

＜活動の概要＞

・当校は、校訓「為せば成る Let's try!」を合い言葉に、自らを高め社会に貢献できる輝く人材の育成を大きな目標に教育活動を進めている。E S D活動を「郷土を愛し、地域に貢献する北中健児の姿を実現する場」と捉え、E S Dの実践を通して自ら考え行動する資質と能力の育成を目ざしている。具体的には、①環境保全に関わる活動、②地域文化に関わる活動、③地域を知る活動を行っている。

・活動の実際

① 環境保全に関わる学習（全校）

校外の活動として「リバーサイドボランティア（R S B）」に参加している。これは校区自治会が豊川の河川敷の清掃をする活動で、この活動に希望者が参加している。主にゴミ拾いや草取りを行い、地域の環境美化に努めている。令和4年度から始まった活動で、少しずつ参加者が増えてきており、特に3年生の参加者が多い。「きれいになると気分がいい」「地域のかたに道具の使い方を教えてもらった」という生徒の声が



聞かれ、環境保全への関心を高めるだけでなく、地域のかたがたと一緒に活動することで地域とのつながりも強くなっている。



校内の活動としては、「昼のボランティア活動」と題し希望者を募集し、運動場の草取りや花の苗植え、落ち葉拾いを行っている。花は登下校するために全校生徒が必ず通る場所に植えており、生徒の心を和ませている。

② 地域文化に関わる活動（音楽部）

音楽部を中心に地域の祭礼や二十歳の集いなどの地域行事に参加し、本地域の伝統芸能でもある「かわきた太鼓」の流れをくむ和太鼓や篠笛の演奏をしている。

地域行事の主催者や鑑賞されたかたがたから「勇壮な太鼓の演奏で、会場の雰囲気盛り上がる」と、毎回好評である。



③ 地域を知る活動（1年生）

1年生は、郷土の自然や環境に目を向け、自分ができることを考えることで、郷土愛を育み、高めることを目的とし、「郷土新発見」というテーマを掲げ、総合的な学習に取り組んでいる。自分の地域のよいところや問題点を見つけ、よいところを更に伸ばすために自分ができること、問題点を改善するために自分ができることをまとめ、学級や学年全体に発信している。自然、防災、寺社仏閣など多岐に渡る内容で、自分が知らないことを学ぶよい機会となっている。

